2026 年度 第 34 回 熊本県民アマチュアゴルフ選手権大会　一般男子　決勝

開　催　日 ：２０２６年１１月２５日（水）
開催コース ：チサンカントリークラブ御船

本大会は、(公財)日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則(2023 年 1 月施行)と、このローカルルールと競技の条件を適用する。

競技の条件

1. 競技委員会の裁定
　競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄においてこの委員会の裁定は最終である。
2. タイの決定
　タイの決定方法は開催要綱に順ずる。
3. 競技終了時点
　委員会によって成績が発表された時点をもって終了したものとみなす。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ（規則 18.2）
　アウトオブバウンズは白杭または白線で定める（定義「アウトオブバウンズ」参照）。
　また、球がプレーしているホールのアウトオブバウンズを越えて止まった球は他のホールに対してインバウンズとなるコースの他の部分に止まったとしてもアウトオブバウンズである。
　（No.1⇔No.6、No.13⇔No.14⇔No.15⇔No.18⇔No.9）ローカルルールひな型 A-4 を適用する。
2. ペナルティーエリア（規則 17）
　レッドペナルティエリアは赤杭又は赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 動かせる障害物（規則 15.2）
　コース間に設置している赤黒縞杭は、動かせる障害物とする。
　なお、本競技には適用しない。（No.6⇔No.7 ＊球が止まっているところからプレー）
4. 異常なコース状態（動かせない障害物を含む）（規則 16）
　(a) 修理地
　　(1) 修理地は白線と青杭で標示し、白線で完全に囲まれている区域（定義「修理地」参照）。
　　(2) 張芝の継ぎ目：ローカルルールひな型 F-7 を適用する。
　　(3) ジェネラルエリアの芝草を短く刈ってある区域にあるヤーデージマーキングペイントが球のライ、意図するスイング区域の障害となる場合（スタンスの障害は除く）、規則 16.1 に基づく救済を受けることができる。
　(b) 動かせない障害物
　　(1) 排水溝は動かせない障害物とみなす。
　　(2) 動かせない障害物に接している他の動かせない障害物は一体の動かせない障害物とみなす。
　　(3) 動かせない障害物によって囲まれた造園区域（花壇、低木の植え込みなど）はその障害物の一部とみなす。
5. コースと不可分の部分
　(a) 樹木や恒久的なものに密着しているワイヤ、ケーブル、巻物やその他の物。
　(b) ペナルティーエリア内の人工の擁壁や枕木。
6. 恒久的な高架の送電線
　ローカルルールひな型 E-11 を適用し、次のように修正する。：プレーヤーの球がインバウンズの送電線に当たったことが分かっているか、事実上確実な場合、そのストロークはカウントしない。そのプレーヤーは規則 14.6 にしたがって直前のストロークを行った場所から罰なしに球をプレーしなければならない。
　例外：高架線の鉄塔や支柱に球が当たった場合には適用しない。
7. クラブと球
　(a) 適合ドライバーヘッドリスト：ローカルルールひな型 G-1 を適用する。
　(b) 適合球リスト：ローカルルールひな型 G-3 を適用する。
8. プレーの中断と再開（規則 5.7）
　危険な状況のためのプレー中断及び再開は、競技委員・サイレン音及びカートナビゲーションによって伝えられる。
9. ホールとホールの間の練習（規則 5.5b）
　規則 5.5b を次の通り修正する:
　2 つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
　・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
　・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。ローカルルールひな型 I-2 を適用する。
　ハーフターン待ち時間の練習は「指定練習グリーン」のみとする。
10. 移動
　競技者は正規のラウンド中、乗用カートに乗車・運転することができる。

注意事項

1. ローカルルールの追加、変更
　ローカルルールや競技の条件に追加や変更があるときは、スターティングホール付近に掲示して告示する。
2. プレーのペースについて
　プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意すること。なお、プレーの進行を不当に遅らせた場合はペナルティを課すことがある。（規則 5.6）
3. 携帯電話の取り扱いについて
　携帯電話等のコース内での使用は禁止する。但し緊急の場合に於いてはその限りでは無い。
4. 用具の使用について
　距離計機器の使用は認められるが、 2 点間の距離以外の機能は使用できない。（規則 4.3a）
5. 練習
　練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は、１人３０球とする。
6. 競技前日の練習
　競技前日の練習はアウト、インともスタートを 14 時で打ち切る。
7. 参加の取り消し
　委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことがある。また、重大な非行があった場合には規則 1.2 に基づいて失格とする場合がある。
8. 使用ティマーカー：黒ティマーカー

競技委員長　北村　明敏